

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2025」

入賞作品として「TVF2025 アワード」(34 作品) を決定

- 応募総数は 95 作品 — 10 代の中学生から 95 歳のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 入賞は 10～20 代の若い世代から 16 作品、60 代以上のシニア世代から 14 作品
- 社会問題を現代・歴史視点から捉える作品、地域コミュニティや自分を見つめる作品が入賞
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2025 フォーラム」を 3/29 (土) にリアルイベントで開催
～「ビデオ大賞」(1 作品) を審査委員が決定・発表する「公開審査会」も開催～

特定非営利活動 (NPO) 法人「市民がつくる TVF」(代表理事：小林はくどう) が主催する、今年で 16 回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2025」(TVF2025) には、95 作品 (国内：94 作品/海外：1 作品) が寄せられ、このたび、入賞作品となる「TVF2025 アワード」として 34 作品を決定しました。入賞 34 作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1 作品) へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述) にて決定・発表します。

入賞者とビデオファンが集う、TVF 恒例の一大イベント「TVF2025 フォーラム」は、来る 2025 年 3 月 29 日 (土) 開催 (会場：武蔵大学 江古田キャンパス (東京都練馬区) *一般開放。入場無料) で開催します。前年に続きリアルイベントでの開催となります。

「TVF2025 フォーラム」では、戦後 80 年となる 2025 年特別企画として、「映像ゲルニカシアター」“どうして戦争は起きるのか”“戦争を止めないのか”と題して、戦争を背負って“今”を生きる人や“歴史を学ぶ”若い世代の映像レポートを通して地球平和を願う珠玉の TVF 作品のダイジェスト上映とトークを行います。また、「TVF2025 アワード」の入賞者を表彰し、同アワードに選ばれた 34 作品を題材に、入賞者と来場者を交えた会場全体での映像制作について語り合う「セッション」や、「特別賞」(2 賞) として、「TVF ジャーナリズム賞」は発表・表彰と専任審査委員による講評を、「市民賞」は発表・表彰を行います。そしてフィナーレには、審査委員が「ビデオ大賞」をライブで審査・決定・発表する「公開審査会」を実施します。

■「TVF2025 フォーラム」の概要 (予定)

[日 時] 2025 年 3 月 29 日 (土) 10:30～17:10

[内 容] 特別企画、「TVF2025 アワード」表彰と入賞者とのトーク、「特別賞」の発表・表彰、
「ビデオ大賞」の公開審査会と発表・上映、表彰

[会 場] 武蔵大学 江古田キャンパス (住所：東京都練馬区豊玉上 1-26-1)

[参加費] 無料

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・発表

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表：「TVF2025 フォーラム」の審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」(TVF ジャーナリズム賞、市民賞) の発表：「TVF2025 フォーラム」にて。

「東京ビデオフェスティバル 2025」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数：95 作品（国内：94 作品／海外：1 作品）。
- ＊前回：98 作品（国内：96 作品／海外：2 作品）。

2. 応募世代

10 代の中学生から 95 歳のシニアまで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・中学生、高校生、大学生を中心とする 20 代までの若い世代から 45 作品（全体の約 47%）。
- ・30～50 代のミドルエイジから 16 作品（同約 17%）。
- ・60 代以上のシニア世代から 34 作品（同約 36%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 79 作品が寄せられ、全体の約 83%。
- ・その他、ドラマ 11 作品（同約 12%）、CG／アニメーション／アート 5 作品（同約 5%）。

「東京ビデオフェスティバル 2025」入賞作品・入賞者の傾向

1. 10～20 代の若い世代から 16 作品が入賞、60 代以上のシニア世代から 14 作品が入賞

今回は、10～20 代の若い世代から 16 作品。また、60 代以上のシニア世代から 14 作品が入賞しており、若い世代とシニア世代の入賞が顕著。30～50 代のミドルエイジの入賞は 4 作品となりました。

2. まさに“ドキュメンタリーの TVF”、ドキュメンタリーから 26 作品が入賞

今回も、応募作品全体の約 76%をドキュメンタリーが占め、まさに“ドキュメンタリーの TVF”として 26 作品が入賞。他は、ドラマ 5 作品、アート・アニメーション 3 作品が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 地域や社会の問題を、過去の歴史、あるいは現代の視点から取り上げた入賞作品（13 作品）

満州引揚者の記録や若者の被爆体験伝承者の姿を追いかける作品、佐渡金山の光と影の真実に迫る作品など、戦争とは何かを考える機会となる作品が入賞しています。また、戦前から今も走り続ける都電荒川線と故郷の姿を映像化した作品、発見から 150 年目に当たる絶滅危惧植物の命名についての経緯を世に残す作品、能登半島地震で被災した特攻隊証言のビデオが縁で交流のあった方の安否と現状を確認する作品が入賞しています。

地域や社会の問題を取り上げた現代の視点として、日常の中に潜む謎の生命体“地衣類”の世界を覗く作品、大災害・少子高齢化・人口流出と現代社会の波に翻弄された離島の今を追う作品、日本最珍種の幻の蝶が棲む貴重な森が存亡の危機に見舞われている現実を知る作品、古いポストに投函すると一年後の自分に届く不思議な手紙屋さんを紹介、再開発や厳しい衛生基準の導入で姿を消した屋台ラーメンの調査報道、消滅可能性自治体のひとつとして過疎化や高齢化が深刻に進む「街のリアル」を描く作品、ドイツで出会った子育てプロジェクトを紹介した作品が入賞しています。

2) 地域やコミュニティをテーマに取り上げた入賞作品（7 作品）

突然のミツバチの大群の来訪をきっかけに養蜂の世界を覗く作品、古希を迎えた元気な 3 人の爺さん達の挑戦の記録、課外授業で古い着物や洋服のリメイクに取り組むシニア大学に通う人たちによるファッションショー、アルビノという病気を抱える高校生の居場所を見つけて生きる姿を紹介、我が家で毎年先祖代々作る味噌作りを紹介、八重山諸島の音楽にあふれた暮らしを通して現地の人々を紹介、ピオトープの自然と環境を 20 年守り続ける活動を記録した作品が入賞しています。

3) 自分を見つめた入賞作品 (7 作品)

初めてシャインマスカットを植えた作者の自分撮り、50 年ぶりに再開した映画製作の自分史、ガンの手術を受ける入院中の自分の姿、吃音である中学校放送部員の姿、2 人の高校放送部員の友情、カミさんの日々を追いかけたホームビデオ、持病をかかえた祖父とカメラと共に対話する作品が入賞しています。

4) 創作表現の入賞作品 (7 作品)

多様な見方のできる初恋ドラマ、きこえない女の子のおつかいという名の冒険ドラマや、怪奇ドラマ、脳科学の原理と人工知能の制御をテーマにしたアート、全編コマ撮りで制作されたアニメーション、紙と鉛筆で生々しく繊細に表現されたアニメーションなど、創作表現に優れた作品が入賞しています。

■「TVF2025 フォーラム」プログラム (予定)

●2025 年 3 月 29 日(土) / 10:30~17:10 (10:00 受付開始)

〈進行〉

- ・ 10:30~ 開会宣言、主催挨拶
- ・ 10:40~ 特別企画「映像ゲルニカシアター」
“どうして戦争は起きるのか” “戦争を止めないのか”
- ・ 12:00~ 休憩
- ・ 13:00~ 「TVF2025 アワード」の表彰、討論
セッション 1 (テーマ:「地域・社会 (歴史)」 / 6 作品)
セッション 2 (テーマ:「地域・社会 (現代)」 / 7 作品)
セッション 3 (テーマ:「地域コミュニティ」 / 7 作品)
セッション 4 (テーマ:「自分を見つめる」 / 7 作品)
セッション 5 (テーマ:「創作・表現」 / 7 作品)
- ・ 15:00~ 「市民賞」「TVF ジャーナリズム賞」の発表・表彰
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員による講評
- ・ 15:30~ 公開審査会
- ・ 16:40~ 「ビデオ大賞」決定・上映、表彰
- ・ 17:00~ 記念撮影、閉会宣言 (終了予定 17:10)

■入賞作品の公開 (Web 配信)

- ・当法人ホームページにて入賞した 34 作品を公開中 (Web 配信)
※今回の応募作品も合わせて公開しています (一部非公開あり)。

・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL

URL <https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員 (五十音順・敬称略)

小林 はくどう (ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授)
佐藤 博昭 (ビデオ作家・武蔵大学 講師)
津野 敬子 (ビデオ作家・DCTV 共同代表)
村山 匡一郎 (映画評論家)

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

神保 哲生 （ビデオジャーナリスト）
筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）
下村 健一 （市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」
「TVF2025 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。
- ・「TVF2025 アワード」
「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。
- ・「TVF ジャーナリズム賞」
特別賞。「TVF2025 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。
- ・「市民賞」
特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2025」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、通算 47 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 16 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*** 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**

<「TVF2025 アワード」(34 作品) 一覧>

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
1	先祖代々続く手作り味噌	島村 定夫	75	13:40	埼玉県
2	時をかける郵便	河原 吏玖 (埼玉県立川越高等学校)	16	4:30	埼玉県
3	都電荒川線よもやま話	内田 一夫	88	13:10	埼玉県
4	ビオトープ 守り続けて20年	住田 勝	81	15:22	埼玉県
5	忘れもの	黒須 春佳 (青山学院大学)	19	10:35	千葉県
6	仮想現実	小川 旭	77	13:37	東京都
7	消えた屋台ラーメンを追って	五百旗頭 優里・諸岡 風和里・村松 真子 (上智大学)	-	16:34	東京都
8	鼓舞してる寝	松川 一世	48	7:10	東京都
9	スタンド・バイ・優	井上 由紀夫	41	14:49	東京都
10	地衣類の世界	森口 郷志	38	10:00	東京都
11	ビデオの絆 プラス AA	鈴木 賢士	92	13:40	東京都
12	ミノタウロスの憂鬱 迷宮のための エスキース	岩井 悠辰	26	5:44	東京都
13	私へ。誰かより、	宮崎 玲花	24	15:57	東京都
14	I-topia	ARTLiVE (神奈川県立相模原弥栄高等学校)	-	18:38	神奈川県
15	アルビノももかさんの希望の歌	佐藤 香奈・浪岡 野乃・長谷川 明莉 (上智大学)	-	6:48	神奈川県
16	内大臣映にこの人あり	御法川 直樹	65	14:21	神奈川県
17	火の島	中野 美子 (上智大学)	20	19:55	神奈川県
18	街が消滅する	山本 華暖 (専修大学)	21	8:38	神奈川県

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
19	私は こう考える	せいりょう	80	9:45	神奈川県
20	佐渡金山と朝鮮人労働者	小杉 日和 (敬和学園大学)	22	20:00	新潟県
21	三爺 古希からの挑戦	関 幸徳	75	12:16	新潟県
22	満州引揚者の証言	斎藤 正一	74	12:50	新潟県
23	春愁	柳沢 怜皇 (東京造形大学)	20	10:42	長野県
24	放課後はファッションショー	井原 宏夫	65	12:47	長野県
25	三つの名をもつ花 戸隠草物語	山岸 哲	85	14:48	長野県
26	青空と夏野	桜丘高等学校 放送部 テレビドキュメント班	-	9:23	三重県
27	NO NAME, WInDOW	樋廻 里彩 (名古屋芸術大学)	22	10:00	三重県
28	八重山音楽さんぽ	立命館大学産業社会学部 岡田朋之ゼミ	-	14:10	京都府
29	思いがけない訪問者	加藤 道明	67	13:00	広島県
30	The Brave	広島市立牛田中学校放送部	-	8:00	広島県
31	シャインマスカットを植えたよ 初収穫編 両親への贈り物	中森 義隆	63	16:00	広島県
32	21歳の伝承者 ～被爆80年へ 託された思い～	広島経済大学山田哲敬ゼミナール 石野 快・伊藤 香・橋本 智香・山下 愛実	-	19:48	広島県
33	ぼく、ガンになりました	永田 隆二	75	11:28	福岡県
34	子どものための時間	国本 隆史	43	14:20	ドイツ

注)・作者名敬称略。国内・海外の順で記載。また国内は北から都道府県順で記載。同じ国/都道府県は作品名の五十音順で記載。